

令和5年度 第2回大津市環境人育成推進懇話会 議事録

1	日時	令和6年2月16日（金） 18:25～19:35
2	場所	大津市役所 別館1階 311会議室
3	出席者	構成員 5名 ※敬称略 びわこ成蹊スポーツ大学 中野 友博（オンライン） NPO法人おおつ環境フォーラム 長崎 雄二（オンライン） 滋賀県シェアリングネイチャー協会 辻田 良雄 カワセミ自然の会（滋賀県小学校教育研究会 環境教育部会、大津市教科 等領域別研究会 環境教育部会） 橋詰 幸喜 幼稚園環境部会 坂田 玲子
4	欠席者	構成員 4名 ※敬称略 大津市PTA連合会 山口 雅史 一般社団法人 大津青年会議所 井上 貫太 オーパルオプテックス株式会社 山脇 秀錬 大津こども環境探偵団エコリーダー 中谷 祐士

1 開会

2 座長あいさつ

- ・今回は今年度のまとめになるので、よろしくお願ひしたい。

3 議題

(1) 指導者研修会（実践編）の結果等について

- ・資料1-1、資料1-2、参考資料について、事務局より説明

【構成員からのご意見】

- ・子どもにとって新鮮な体験で、知的好奇心を掻き立てる内容になっている。今回は指導者のスキルアップのための研修だったが、子どもの知的好奇心やこれからの学びへの気づきに繋がったと思う。
- ・環境系の研修が保育の指導法の研修にも繋がったのではないか。教諭の指導力（保育力）アップ+講師の専門性が子どもたちの学習意欲に繋がったと感じた。保育力アップの中に、子どもたちに自然を感じてもらえるような要素を入れ込んで行ってほしい。
- ・幼稚園教諭ではない講師が教えたことが、子どもに新鮮に映ったのだと思う。
- ・今回対象とした5歳児は、知的好奇心をくすぐる体験が重要な年代であり、感性で捉えることの大切さを改めて感じた。
- ・実践編は実際に子どもに関わっていくことができる活動なので、続けていけるとよい。
- ・環境教育部会でも環境政策課や保育士に参加してもらったが、一緒に活動できたことはレベルアップに繋がったと感じている。
- ・幼児や若い親世代を巻き込みながら自然を感じてもらいたいという話は過去から出ていた。今後、市内の団体等と連絡を取りながら情報共有をしていくことを考えていく必要があるかもしれない。もっと色々な人を巻き込みながら取り組んでいった方が良いのでは。
- ・自然家族事業の良いところは保護者も参加するため、子どもにとっても保護者にとっても安

心であるところ。小学校高学年になると多忙の子も増えてくるので、幼稚園・保育園の子どもから環境になじませ、教育を仕組んでいくことが大切だと思う。

【構成員からの質問】

- ・環境宣言を掲げたりしている市等もあるが、大津市はどのような方針を考えているか。
- ・環境の良さを伝えることができる人を増やしていきたいという思いがあるが、子どもの参加者が多忙を理由に減ってきている現状がある。若い親世代や子どもをターゲットに環境人を育む必要があると思うが、大津市としてどのように考えているか。

【事務局より回答】

- ・環境人育成としては、自然家族事業や探偵団事業、指導者研修会などの事業を通して環境に触れていただきたいと考えているが、多忙な人も多いので、構成員から意見を伺いながら、効果的に事業が実施できるようにしていきたい。
- ・自然を楽しんでもらうきっかけづくりとして、以前の自然家族事業は規模が大きく、多くの親子が参加してくれていた。今の方が少人数になっている一方で、アットホームでリピーターも多く、以前より事業として定着していると思っている。自然活動を実施している園などとマッチングしていくことができれば、保育園などでも環境学習ができる可能性がある。市が市内の団体と繋がることも重要だと思うが、団体にはそれぞれの思いがあると思うので、無理に1つにするのは良くない。各団体の良さをPRできる活動ができれば良いと考えている。

(2) 次年度の指導者研修会の方向性について

・資料2について、事務局より説明

【構成員からのご意見】

- ・幼稚園・保育園の自然体験事業から、小学校・中学校の環境教育への繋げ方を検討するために、教育学の専門家に関わってもらう方向も良いのではないか。
- ・実践編について、来年度は多くの学校を対象にするのではなく、幼稚園等を1～2園選定して重点的・集中的に実施した方が良いのでは。活動が実際に定着するためには3段階必要で、実際の教育現場で動くことができる人を育てる、ということが大事。
- ・今年度においては、基礎編は夏、実践編は冬と期間が空いたが、来年度の実践編は10～12月にできれば理想。
- ・将来的には、自然の遊び方を参加教諭に知ってもらいながら環境政策課が手伝うというスキームができれば良いのではないか。
- ・幼稚園や保育園では保護者と子どもとのプログラムを年に数回実施しているので、可能であればそのようなプログラムに自然観察の要素を足してもらえるように、環境政策課が手伝うことができれば良いのでは。指導者研修会の実践編を保護者にまで広げていくことができれば良いかもしれない。

(3) その他

特になし

4 環境政策課長あいさつ

- ・ 構成員の多大な御協力により、幼稚園教諭や小学校教諭等に研修会に参加いただき、教育現場での指導により近い形での指導者研修会が実施できるようになった。
- ・ 環境人の育成に取り組んでいくにあたり、次年度も引き続き御協力を賜りたい。

5 閉会